

単位: 千円

〔目次〕 頑張る地方応援プログラム

都道府県名	団体コード	市区町村名	プロジェクト名称	プロジェクトの目的、概要及び具体的な成果目標	プロジェクト期間	具体の事業・施策(名称)	具体の事業・施策 (事業概要)	事業費 (計画全体)	事業費 (平成20年度)	政策分野 の分類 (①～⑪)	新規・継続 の区分
高知県	394122	四万十町	わがまち元気創出プラン	<目的・概要> ○ 地域の連帯意識の醸成や、住み易い地域環境づくりといった「わがまちの元気」を創造する事業を支援するとともに、まちづくり活動の拠点施設・環境の整備を行い、住民自治の発展と豊かで活気ある地域づくりを推進する。 ○ 行政情報を含めた地域情報の共有化を図るため、情報基盤整備と仕組みづくりを推進する。 ○ これらを実行するため、住民と行政の協働、政策形成過程や行政評価への住民参画、住民による自主的な地域運営を規定した「自治基本条例」の制定を推進する。 <具体的な成果目標> ○ 地区主催の協働活動事業への年間参加延べ人数 10,300人(H18) → 20,000人(H21) ○ 自治基本条例の制定(H21) ○ 地上デジタル化への対応〔整備率〕 62.5%(H20末) → 85.2%(H21末) → 100%(H22末) ○ ブロードバンド・ゼロ地域の解消〔整備率〕 85.2%(H20末) → 100%(H21末)	平成19年度 ～ 平成21年度	自治会活動支援事業	自治会等が実施する地域コミュニティの維持・活性化につながる、多数の地域住民が参加する活動を支援し、地域コミュニティの活性化を図る。	21,060	7,590	1	継 続
						地域力発揮事業	自治会組織等が実施する新たな地域づくりにつながる活動を支援し、住民主体による地域活性化を推進する。	3,745	1,500		
						ふれあい整備事業	まちづくり活動の拠点施設・環境の整備を図るため、活動の推進に直ちに効果が見込まれる事業を支援する。	21,316	9,978		
						ケーブルシステム整備事業	地域情報基盤として、町内全域にケーブルネットワーク施設を整備し、デジタルテレビ放送や通信サービスを同一・公平に提供することにより、地域の情報化を推進する。	3,077,384	2,215,467		
						総 計		3,123,505	2,234,535		
http://www.town.shimanto.lg.jp/life/detail.php?hdnSKBN=A&hdnKey=500											
高知県	394122	四万十町	安心・安全なまちづくり プロジェクト	<目的・概要> 合併後においても、災害に強いまちづくりは行政課題の中心であり、今後発生が予想されている南海地震等のあらゆる災害に対し、社会資本の整備と自主防災組織の設立支援を行い、地域住民と一体となった総合的な取組みを展開することにより、安心・安全なまちづくりの構築を目指す。 <具体的な成果目標> ○ 自主防災組織の設立 62組織・74.4%(H19) → 82組織・100%(H21) ○ 防災体制の整備(津波対策) ・ 海岸漁村部における、避難道・避難広場等の整備 避難掲示板設置 ・ 海岸農村部における、ため池改修、橋梁耐震補強 避難塔、避難広場及び飲料水型耐震性貯水槽の設置 ・ 既に整備の終わった避難広場等に、備蓄用食糧等を確保するための防災倉庫を設置 ○ 小中学校耐震化事業(診断及び診断結果に基づく危険校舎等の改修) 耐震診断29棟・耐力度調査1棟・実施設計9棟・改修工事6棟(H19～21)	平成19年度 ～ 平成21年度	自主防災組織事業	地域での自主防災活動への取組みに対する育成・支援	20,538	8,245	9	継 続
						防災体制整備事業	興津及び志和地区への地震・津波対策(避難道の整備等)	274,245	111,813		
						小中学校耐震化事業	町内小中学校の耐震診断、耐力度調査、実施設計及び改修工事	349,429	104,229		
						総 計		644,212	224,287		
						http://www.town.shimanto.lg.jp/life/detail.php?hdnSKBN=A&hdnKey=500					
高知県	394122	四万十町	四万十川との共生 プロジェクト	<目的・概要> ○ 四万十川及びその支流の水質改善及び周辺環境の保全活動に取り組み、四万十川そのものを産業・観光資源として有効活用し、地域の振興・活性化に資する事を目的とする。 ○ 重要文化的景観保護事業(景観協議会の開催、重要文化的景観保存調査、活用計画の策定) ○ 合併処理浄化槽の設置に対する補助 ○ 四万十川一斉清掃 <具体的な成果目標> ○ 重要文化的景観の指定 四万十川及び梶原川の「重要文化的景観」への選定登録(H20) ○ 生活排水処理人口の10%増 5,434人(H19) → 目標6,000人(H21) ○ 四万十川一斉清掃参加者の10%増 2,700人(H19) → 目標3,000人(H21)	平成19年度 ～ 平成21年度	重要文化的景観事業	景観協議会の開催、文化的景観保存調査、保存計画の策定	14,500	2,500	10	継 続
						河川(水質)環境保全事業	合併処理浄化槽設置補助、四万十川方式維持管理及び環境美化事業	409,046	137,682		
						総 計		423,546	140,182		
						http://www.town.shimanto.lg.jp/life/detail.php?hdnSKBN=A&hdnKey=500					

頑張る地方応援プログラム

都道府県名	高 知 県	市町村名	四 万 十 町
-------	-------	------	---------

プロジェクト名	わがまち元気創出プラン	新規・継続の 区分	継続
プロジェクトの 目的、概要及び 具体的な成果目 標	(目的、概要) 合併後の新町の活性化を集落・地区レベルから図る地域経営においては、自立した住民による主体的活動が必要である。このため、住民の主体・共創・協働により、地域の連帯意識の醸成や住み易い地域環境づくりといった「わがまちの元気」を創造する事業を支援すると共に、まちづくり活動の拠点施設・環境の整備を行い、住民自治の発展と豊かで活気ある地域づくりを推進する。 併せて、住民の主体・共創・協働の実効性を高めるには「地球的に考え、地域的に行動する」基軸となるよう、行政情報を含めた地域情報の共有化が必携であり、このため情報基盤の整備と仕組みづくりを推進する。 また、これら「わがまちの元気」を実行するため、住民と行政の協働、政策形成過程や行政評価への住民参画、住民による自主的な地域運営を規定した「自治基本条例」の制定を推進する。 (具体的な成果目標) ○地区主催の協働活動事業への年間参加延べ人数 約10,300人(H18) → 20,000人(H21) ○自治基本条例の制定 (H21) ○地上デジタル化への対応〔整備率〕 62.5%(H20末) → 85.2%(H21末) → 100%(H22末) ○ブロードバンド・ゼロ地域の解消〔整備率〕 85.2%(H20末) → 100%(H21末)		
プロジェクトの 期間	平成19年度～平成21年度	政策分野の分類 (①～⑪)	①地域経営改革プロジェクト
住民への公表の 方法 (ホームページ アドレス等)	四万十町ホームページ(http://www.town.shimanto.lg.jp)において掲載		

プロジェクトを構成する具体の事業・施策

名 称	事 業 概 要	総事業費 (単位：千円) (うちH20事業費)
自治会活動 支 援 事 業	自治会等が実施する地域コミュニティの維持・活性化につながる、多数の地域住民が参加する活動を支援し、地域コミュニティの活性化を図る。	21,060 (7,590)
地域力発揮 事 業	自治会組織等が実施する新たな地域づくりにつながる活動を支援し、住民主体による地域活性化を推進する。	3,745 (1,500)
ふれあい 整 備 事 業	まちづくり活動の拠点施設・環境の整備を図るため、活動の推進に直ちに効果が見込まれる事業を支援する。	21,316 (9,978)
ケーブルシステム 整 備 事 業	いつでも、どこでも、誰もが「伝え」「つなげ」「結ぶ」ことのできる地域情報基盤として、町内全域にケーブルネットワーク施設を整備し、デジタルテレビ放送や通信のサービスを同一・公平に提供することにより、地域の情報化を推進する。	3,077,384 (2,215,467)
総 計		3,123,505 (2,234,535)

その他特記事項

「四万十町総合振興計画」においても、施策の大綱として「住民自らの手による地域づくりの促進」、「住民のまちづくりへの参加と行政との協働、住民自治の確立」及び「情報共有化と住民自治を支える仕組み」を掲げており、地域情報の共有化を進めながら、地域の活性化及び協働のまちづくりを推進する。

頑張る地方応援プログラム

都道府県名	高 知 県	市町村名	四 万 十 町
-------	-------	------	---------

プロジェクト名	安心・安全なまちづくりプロジェクト	新規・継続の 区分	継続
プロジェクトの 目的、概要及び 具体的な成果目 標	(目的、概要) 合併後においても、災害に強いまちづくりは行政課題の中心であり、今後発生が予想されている南海地震等のあらゆる災害に対し、社会資本の整備と自主防災組織の設立支援を行い、地域住民と一体となった総合的な取組みを展開し、安心・安全なまちづくりの構築を目指す。 (具体的な成果目標) ○自主防災組織の設立 H19： 62組織(74.4%) → H21： 82組織(100%) ○防災体制整備事業（津波対策） ・海岸部漁村部における、避難道・避難広場等の整備、避難掲示板設置 ・海岸農村部における、ため池改修、橋梁耐震補強、避難塔、避難広場及び飲料水型耐震性貯水槽の設置 ・既に整備の終わった避難広場等に、備蓄用食糧等を確保するための防災倉庫の設置 ○小中学校耐震化事業（診断及び診断結果に基づく危険校舎等の改修） H19～21： 耐震診断29棟・耐力度調査1棟・実施設計9棟・改修工事6棟		
プロジェクトの 期 間	平成19年度～平成21年度	政策分野の分類 (①～⑪)	⑨安心・安全なまちづくりプロジェクト
住民への公表の 方法（ホームページ アドレス等）	四万十町ホームページ(http://www.town.shimanto.lg.jp)において掲載		
プロジェクトを構成する具体の事業・施策			
名 称	事 業 概 要	総事業費 (単位：千円) (うちH20事業費)	
自主防災組織 育 成 事 業	平成21年度末に自主防災組織結成率100%を目指し、あらゆる災害による被害の防止及び軽減を図るため、防災意識の高揚、自主防災組織の活動強化及び防災資機材等の整備により、地域ぐるみの防災体制の確立と強化を目指す。	20,538 (8,245)	
防 災 体 制 整 備 事 業	地震等の津波対策として、興津・志和両地区の漁村部(小室地区全域、浦分地区の一部)に、漁業集落環境整備事業において避難道・避難広場を設置、避難誘導看板等を設置するとともに、既に整備が完了した避難広場には、コミュニティ助成事業において、備蓄・防災資機材倉庫を設置する。また、避難訓練等を行い、住民意識の高揚を図る。 平成20年度より、両地区の農村部(郷分地区全域、浦分地区の一部)を対象とした農村災害対策整備事業を導入し、ため池改修、橋梁耐震補強、避難塔、避難広場、避難所耐震補強、非常用給水槽の設置等のハード整備事業を実施するとともに、漁村部同様避難訓練の実施等により、住民意識の高揚を図る。	274,245 (111,813)	
小 中 学 校 耐 震 化 事 業	町内小中学校施設の耐震診断を行い、診断結果に基づき、基準を満たしていない施設、緊急性の高い施設から順次改修を行い、児童生徒たちの安全の確保をするとともに、災害時の避難所における耐震性の確保を行う。	349,429 (104,229)	
総 計		644,212 (224,287)	
その他特記事項			
「四万十町まちづくり計画」においても、新町建設計画の主要施策として、南海地震を視野に入れた地域防災計画を策定し、地域が一体となった防災体制の構築と自主防災組織の育成を掲げている。			

頑張る地方応援プログラム

都道府県名	高 知 県	市町村名	四 万 十 町
-------	-------	------	---------

プロジェクト名	四万十川との共生プロジェクト	新規・継続の 区分	継続		
プロジェクトの 目的、概要及び 具体的な成果目 標	(目的、概要) 日本最後の清流「四万十川」の中流域に位置する本町は、立地上の特性及び流域全体の観点から、四万十川及びその支流の水質並びに周辺環境の保全に留意する必要があり、持続的循環型の地域社会づくりを前提として、河川環境はもちろん生活環境の改善を図るとともに、産業・観光振興としても有効に活用し、地域の振興・活性化を図る。 (具体的な成果目標) ○重要文化的景観保護事業 四万十川及び梶原川の「重要文化的景観」への選定・登録(H20) ○河川(水質)環境保全事業 ・生活排水処理(合併処理浄化槽・公共下水道・農集)人口の10%増 生活排水処理人口 5,434人(H19) → 目標 6,000人(H21) ・四万十川一斉清掃参加者数の10%増 参加者数 2,700人(H19) → 目標 3,000人(H21)				
プロジェクトの 期間	平成19年度～平成21年度	政策分野の分類 (①～⑪)	⑩環境保全プロジェクト		
住民への公表の 方法 (ホームページ アドレス等)	四万十町ホームページ(http://www.town.shimanto.lg.jp)において掲載				
プロジェクトを構成する具体の事業・施策					
名 称	事 業 概 要	総事業費 (単位：千円) (うちH20事業費)			
重要文化的 景観保護事業	日本最後の清流といわれる四万十川の保存調査を実施し、流域住民のみならず国民共有の財産として後世に引き継ぐため、重要文化的景観の選定・登録を目指し、四万十川との共生のまちづくりに寄与する。	14,500 (2,500)			
河川(水質)環境 保 全 事 業	河川一斉清掃等を強力に推進し、河川及び生活環境の美化活動に取り組むと共に、住民意識の向上を図る。 また、四万十川への環境負荷を軽減し水質浄化を目指すため、四万十川方式浄化施設の適正管理、合併浄化槽の普及、公共下水道・農業集落排水処理人口の普及向上に努める。	409,046 (137,682)			
総 計		423,546 (140,182)			
その他特記事項					
「四万十町まちづくり計画」においても、重点プロジェクトの一つとして「四万十川との共生プロジェクト」で河川環境保全、環境と共生する生活スタイルの実践等を掲げている。					